

第1部

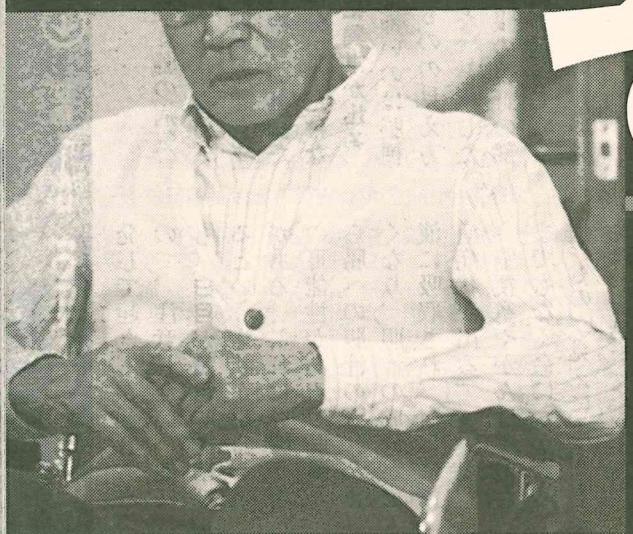
ここが

その始まり

見えない 聞こえない  
歩けない 食べられない

りだつた

そして 最後は  
こうなる



がん、心筋梗塞、脳梗塞……。重大な疾患のきっかけのほとんどは、実は知らなければ見過ごしてしまうものばかりだということをご存じだろうか。病の始まりと終わり、その実例を紹介する。

のを見る時、しきりに首を片方の側に傾けて見るようになつた。そして、突然、家の中で倒れ、救急車で搬送される。大橋さんが続ける。

「医者からは脳梗塞だと言われました。なんとか一命は取り留めましたが、左半身は完全に麻痺し、ろれつも回らず、ほとんどしゃべれなくなつてしましました。寝起きり状態になり、介護老人保健施設で面倒を見てもらつていたのですが、ちょうど1年前に肺炎で他界しました。病気になると、かつては毎日ウォーキングを行つたりと健康そのものだつたんですが……」

自分は健康には気をつけていたから、これまで何も大きな病気になつたことがないから、なにも問題はない——。そう思つてはいないだろうか。だが、病魔はひとつやつてくる。重要なのは病の「始まり」をき

東京都在住の大橋豊さん（55歳・仮名、以下同）の父親が、「テレビがよく見えない」と言い始めたのは、約3年前のこと。当時、父親は77歳だった。「当時、私と妻、父の3人で同居していました。リビングではいつも同じ席に座つていたのですが、父から『あれ（テレビの字幕）、なんて書いてあるんだ？』と頻繁に聞かれるようになつたのです。父は老眼は進んでいましたが、近視ではなく、並んで立つている父親が自分にぶつかつて思つたのですが、『まあ年も年だし、そういうこともあるのかな』と思っていたのです」（大橋さん）

それから2週間ほど経つと、視力の低下だけでなく、並んで立つている父親が自分にぶつかつてくるようになつたり、も

**脳低視力が  
疑えたら**



上から尾藤誠司氏、岡田唯男氏、山中克郎氏

された難聴が進むと人間関係から孤立しやすくなり、脳への刺激が減ることなどが原因とされている。

眼と同様、耳の異変の背後にも、大きな病魔が潜んでいる。

「耳鳴り」がする場合、耳鳴り単独の症状しかない時は耳鼻科系の疾患のことが多いです。一方、耳鳴りにめまいが伴つたり、ふらついてしまうといった状況が重なってくると、脳梗塞など脳の疾患ということがあります。

これは、どういうタイミングで起こったかといふことも重要です。『半年ぐらい前からなんとか耳鳴りやめまいがする』という場合はあまり心配しなくても大丈夫で

然、耳鳴りがし始めたと  
いうケースは、注意が必要だと思います」（獨協  
医科大学総合診療医学・  
総合診療科教授の志水太郎医師）

**脚の痛みを我**  
「歩く」ことは身体にとって非常に重要な要素だ。高齢者が歩けなくなる場合、骨・筋肉・関節、もしくは脳や脊髄の疾患など多数の理由が考えられる。  
**「加齢に伴つて歩く速度が落ちたり、長時間歩けなくなる方の多くは、筋肉の萎縮が原因です。関節でいえば、膝の軟骨がすり減る変形性膝関節症もあります。膝だけでなく、変形性股関節症というケースもあります」(医**

脚の痛みを我慢していたら

OL（生活の質）を下げるのが、「見えない」に代表される眼の疾患だ。東京医療センターの尾藤誠司医師が解説する。

「ものの見え方に何か問題が起きた場合、大まかに分けて『眼の病気』、『眼の血管の病気』、『眼の神経と脳の病気』などが考えられます。眼の病気の場合、多くは急激に症状が現れます。たとえば、家でくつろいでいる時に、急に片方の眼だけが見え方がおかしくなった場合、網膜剥離や眼底出血が考えられます。このケースの場合、まったく見えなくなるわけではなく、**目がかすむ**、**ぼやけ**る、**視野が歪む**などの症状が出ます。

『眼の血管の病気』には黒内障というものがあります。これは眼に栄養を供給している血管が詰まってしまうことが原因で、一時的に片方の眼が

「耳」から認知  
長尾クリニック院長の  
長尾和宏医師が話す。  
「脳下垂体（脳の下面に  
あり、様々なホルモンの  
働きをコントロールして  
いる組織）にできた腫瘍  
が視神経を圧迫し、視力  
が低下するケースがあり  
ます。眼が見えない、見  
にくくなつた際に眼科を  
受診しても、「眼球には  
異常はありません」と言  
いながら、頭痛や吐き気  
などの病気」には、急性緑内  
障発作もある。緑内障は  
基本的に緩やかに進行す  
るが、この疾患は頭痛  
や吐き気とともに、急激  
な視力の低下や眼のかす  
みが起きる。緑内障によ  
る視神経障害は元に戻ら  
ず、失明につながること  
も多いので注意が必要だ。  
眼の異変の中には、他  
の重大な疾患が潜んでい  
ることがある。尾藤氏が

## 【車】から認知症になる

「『眼の神経と脳の病気』は、大体片方ではなく、両方の目に問題が起きます。両眼の視野の外側だけ、上方4分の1だけなど、見え方に異常が出る。中でも一番怖いのは脳梗塞です。『ものの見え方がおかしいな』と感じたら、まず両眼の視野の部分的な欠損が起きているかを確認したほうがいいでしょう」

「一度患うと、大きくQちゃんと知ることだ。」

「OL（生活の質）を下げるのが、「見えない」に代表される眼の疾患だ。東京医療センターの尾藤誠司医師が解説する。

「ものの見え方に何か問題が起きた場合、大まかに分けて『眼の病気』、『眼の血管の病気』、『眼の神経と脳の病気』などが考えられます。眼の病気の場合、多くは急激に症状が現れます。たとえば、家でくつろいでいる時に、急に片方の眼だけが見え方がおかしくなった場合、網膜剥離や眼底出血が考えられます。このケースの場合、まったく見えなくなるわけではなく、目がかすむ、ぼやけ、視野が歪むなどの症状が出ます。

『眼の血管の病気』には黒内障というものがあります。これは眼に栄養を供給している血管が詰まってしまうことが原因で、一時的に片方の眼が

急速に症状が出る「眼の病気」には、急性緑内障発作もある。緑内障は基本的に緩やかに進行するが、この疾患は頭痛や吐き気とともに、急激な視力の低下や眼のかすみが起きる。緑内障による視神経障害は元に戻らず、失明につながることが多いので注意が必要だ。

眼の異変の中には、他の重大な疾患が潜んでいることがある。尾藤氏が

## 「耳」から認知

長尾クリニック院長の長尾和宏医師が話す。

「脳下垂体（脳の下面にあり、様々なホルモンの働きをコントロールしている組織）にできた腫瘍が視神経を圧迫し、視力が低下するケースがあります。眼が見えない、見にくくなつた際に眼科を受診しても、『眼球には異常はありません』と言

――『眼の神経と脳の病気』は、大体片方ではなく、両方の目に問題が起きます。両眼の視野の外側だけ、上方4分の1だけなど、見え方に異常が出る。中でも一番怖いのは脳梗塞です。「ものの見え方がおかしいな」と感じたら、まず両眼の視野の部分的な欠損が起きているかを確認したほうがいいでしょう。

前出の大橋さんの父の事例が、まさにこれだ。

発して起きることもあるので、注意したい。他にも、**白目が黄色味を帯びる**という症状が出ることがある。これは肝臓がない可能性がある。肝臓から腸への胆汁の流れが悪くなり、胆汁の成分が血液に吸収され、白目に黄疸症状が出る。

脳梗塞やがんは、言うまでもなく命にかかる病。ものが見えにくい時、ちょっと疲れているだけ、年齢のせい、と放っておくと取り返しのつかない「最後」が待っている。眼と並んで加齢のせいだと思われるがちなのだが、耳の異変。その最たるもののが難聴だ。『その症状、すぐ病院に行くべき？行く必要なし？』などの著書がある諫訪中央病院の院長補佐、山中克郎医師が語る。

「聴力低下は伝音難聴（外耳や鼓膜、耳小骨の障害）と、感音難聴（内耳や聴神経の障害）に分かれます。前者で多い原因

は耳垢による閉塞、慢性中耳炎など。後者では老人性難聴、突発性難聴などがあります」  
一般的に加齢で耳が遠くなると言われるのは、この老人性難聴。突発性難聴は、歌手の藤あや子（57歳）や山本譲二（68歳）らがかかったことで、ご記憶の方もいるだろう。伝音難聴の原因が耳垢というと軽く考える人もいるだろうが、難聴を訴え来院した高齢者の耳に大量の耳垢が詰まっていたというケースが多い。そのまま放置しておくと、悪化して感音難聴になるケースもある。  
耳の不調を放つておこり、別の疾患につながることがある。「17年7月、英國の医学誌『ランセット』に認知症についての論文が掲載された。その中で、高血圧や肥満といった要因を押しのけ、「予防できる要因の中で、難聴は認知症の最も大きな危険因子である」と指摘

を、椎間板などが圧迫することで、下半身に痛みやしびれが走る疾患のこと。田中さんが続ける。

「2年間ほど痛みを我慢していたため、悪化してしまったいたようです。この時には脚だけでなく腰にも痛みが走るようになっていました。医者から勧められて手術を受け、父の脚や腰の痛みは消えたのですが、うまく歩けなくなってしまつた。リハビリを続けても他人の手助けなしには歩けない。いまはほとんど寝つきり状態で、ずっと自宅のベッドで横になつて過ごしています」

歩けなくなつた場合、足腰の問題だと考えるのが一般的。しかし、この脊柱管狭窄症のように、別の器官が原因になつているパターンもある。

「歩けない」原因は、足腰だけではありません。循環器系統が原因のケースもあるのです。た

とえば、慢性心不全（心臓のポンプ機能が低下し、血液が身体のすみずみまで行き渡らない状態が慢性的に続くこと）になると、ちょっと歩いただけで息切れを起こすようになります。歩けない原因が息切れなのであれば、慢性心不全の可能性があります（前出・長尾氏）

大切なのは、「歩く」とは全身の総合的な動きのうえに成り立っていることを忘れないことだ。長尾氏が続ける。「歩く速度が遅くなつた、歩幅が小刻みになつた。これは認知症のサインのことがあります。歩く速

と度や歩幅は認知機能と密接に関連しているのです。歩けなくなつた場合、脳が悪いのか、脚や腰が悪いのか、それとも内分泌系の疾患なのか。様々な病気の可能性があります

かつては健啖家として鳴らした人でも、加齢とともに食欲が減退していく。確かに、若い頃とまつたく食べる量が変わらないという人は少ないと思うが、老いて食が細くなつただけ、思考停止していると、落とし穴が待つている。「最近、す

ぐにお腹いっぱいになると、そんな症状を感じる人は特に危ない。「胃がんは内側の粘膜に腫瘍ができますので、胃の動きが悪くなります。そうなると、早期満腹感といつて、食べてもすぐにお腹がいっぱいになります。最近、食べる量が

最初は食べ物がのどに引っかかる、飲み込むときに痛みが走るといった症状があり、次第に食べることが億劫になつていてもいる。これは、咽頭がんや食道がんが進行し、腫瘍が食道を圧迫している可能性がある。消化器内科で内視鏡検査を受けても損はない。

「脳腫瘍ができるいる時も、食欲低下の症状が現れることがあります。脳腫瘍は脳の食欲を司る機能を壊してしまったことがあります。脳腫瘍は数カ月単位で進行します。なので、ご家族から見て、『ここ数カ月ぐらいいちのお父さん食欲がないな』という状態であれば、脳腫瘍の可能性まで広げて考えたほうがいいでしょう」

重版!!  
ちちたま

# 妻のトリセツ

定価：本体800円(税別)  
ISBN978-4-06-513399-2

電子版も好評配信中

講談社新書

ひとこと言えば10倍返し。ついでに10年前のことまで蒸し返す。  
なぜ!? どうすれば!? という夫の疑問と妻への対処法を

脳科学の面からわかりやすく解説し、家庭に平穏を取り戻すための一冊。



黒川伊保子  
編著



## 「鬱っぽい」で片付けない

他にも、心筋梗塞の前触れとして、食欲不振になる人がいる。胸や首の痛み、冷や汗が出るなど

の症状が一緒に起きている際は、危険な兆候だ。がんのような重大な疾患だけが、高齢者が「食べられないくなる」原因ではない。一例が、味覚障害だ。主に貝類や赤身の肉などに含まれる亜鉛が不足することで起きる。

いらないのが、薬の飲み過ぎだ。「味覚異常」「食欲不振」などの副作用がある薬は、降圧剤の「アドレナリン」や、高脂血症治療剤の「メバロチン」など生活習慣病薬にも多い。医者の言うままに何種類もの薬を飲んで味覚を失い、知らず知らずの間に極度の食欲不振に陥ってしまうというのでは元も子もない。

大切なのは、眼、耳、歩行、食事だけではない。前出・長尾氏が解説する。

「筋肉痛や肩こりだと自己診断していたら、実はがんの骨転移だったという事例もあります。あるいは単なる肩こりだと思つて、鍼治療に通ついたら、実は心筋梗塞や狭心症、あるいは大動脈解離になりかけていたとい

うケースもあるのです。こういった事例にも、注意したほうがいいでしょう」

身体の痛みは判断が非常に難しい。単なる筋肉の損傷や炎症の場合もあれば、がんや心血管系疾患の重要な前触れとして

衰えた寝つき患者に待つてるのは、誤嚥性肺炎だ。肺炎死亡者の実に95%以上が65歳以上であることはご存じの方も多

いだろう。重要なサインが隠れているのは、眼、耳、歩行、食事だけではない。前出・長尾氏が解説する。

50代の男性で、「最近、なんとなく鬱っぽい」という理由で来院されました。お話を聞くと「家庭内にいろいろな問題があつて、それで鬱になつているのかもしれない」と仰つていました。ただ、私は以前にもその方を診察したことがあります。当時から家庭内の問題については仰っていました。健診診断にも最近は行っていないとのことだったのですが、『たとえば、背中や脇腹に痛みはありませんか』と聞いたところ『そ

ういえば、ちょっと脇腹が痛いですね』と。念の

ため、超音波検査やCT検査をしたところ、脾臓がんだったのです。このように、患者さんの主訴は「鬱」でも、実際にはがんが見つかることもあります。『鬱』でも、実際にはがんが見つかることもあります。しかし、腹部の大動脈瘤が破裂していたということもある。

起きることがある。胸の強烈な痛みは心筋梗塞の典型症状であり、胃がんや肝臓がんで腹部に痛みや肝臓がんで腹部に痛みやしこりが出ることもある。中には腰痛だと思つていたら、腹部の大動脈瘤が破裂していたということもあります。

「亀田ファミリークリニック館山」院長の岡田唯男医師はこう警鐘を鳴らす。

「熱が長引くため検査をしたところ、がんが見つかるというケースもごく稀にあります。ちょっとした不調や、あまり気にならないでもいいかと思つたようなことでも、自己判断せず、なんでも相談できる主治医を見つけておくことがベストだと思います」

病気の「始まり」は意識しなければ見過ごしてしまふようなものがほとんどだ。裏を返せば、ついていれば、いくらでも対応することができる。きちんと知識を得ていれば、何も恐れることはな

目の前にいるのに何だつけ? 人の名前が出てこない、あなたへ

カラー 最後に引っ越すなら、こんな家 伊豆・富士山が見える温泉付き物件

名門・麹町中学校長の挑戦 すぐ人のせいにする大人をつくらないために

ゴルフ新ルール ピンを抜いて打つか、抜かずに打つか それが問題だ

カーリングの本橋麻里 カラー初登場 / おとなの浅草 まるごとガイド

# 週刊現代

俳優  
**吹越満**

部長の役を  
やらせたら日本一



朝日新聞読者の声に誰も答えようとしないが

確かに税務署の延滞税って、おかしくないか

2/2

特別定価  
480円  
Weekly Gendai  
2019  
February

冬の特大号 最期の手続き大特集

医療大特集

心房細動——何が怖くて、どうなるのか

ここがどうしてもわからぬ 50問50答

あなたと家族に立ちはだかる  
老親の暗証番号、金庫の力ギ問題

役所・銀行・税務署とうまくやる方法

ここがどうしてもわからぬ 50問50答

みんな困つて大反響 死ぬ前と死んだあととの手続き

実家が遠すぎて、自分で手続きできないときは? / 身寄りがない私は、  
誰に手続きを頼めばいいのか? / 契約解除は何から始めるのが正解?  
相続税を払う必要がなくても確定申告は必要? / 親が飼っていたペットも  
相続するって本当? / 相続を放棄したら、遺族年金はもらえないの? / ほか

見えない 聞こえない 歩けない 食べられない  
三角大福中の時代「男たちの権力闘争」

特別企画 表と裏、騙し騙され、裏切り痕返り。これぞ政治の醍醐味